

第**2**部

将来像の実現に向けた
とちぎづくり

V 重点戦略

V 重点戦略

人口減少・少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、頻発・激甚化する自然災害など、栃木県が直面する諸課題を乗り越え、新しいとちぎづくりの推進に向け、とちぎの強みを最大限生かしながら、めざす将来像「人が育ち、地域が生きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するため、今後5年間で重点的に取り組むべき戦略として設定するものです。

「めざすとちぎの将来像」ごとに5つの戦略で構成されています。

「めざすとちぎの将来像」

- ◇次代を担う人がたくましく育ち、あらゆる場で活躍する「とちぎ」……『**人材育成戦略**』
- ◇魅力ある多彩な産業が活力にあふれ、豊かさに満ちる「とちぎ」……『**産業成長戦略**』
- ◇いつまでも健康で、誰もがいきいきと暮らせる「とちぎ」……『**健康長寿・共生戦略**』
- ◇強くしなやかで、安全・安心を実感できる「とちぎ」……………『**安全・安心戦略**』
- ◇誇れる地域・豊かな自然を未来につなぐ「とちぎ」……………『**地域・環境戦略**』

経済や暮らし、まちづくりなど、すべての活動の原動力は「人」であることから、人材育成戦略を第1の柱とし、県民や市町等と連携・協働のもと、オール栃木体制で社会経済情勢や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事態の変化に柔軟に対応しながら、各重点戦略に位置付けたプロジェクトを着実に推進していきます。

人が育ち、地域が生きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”



重点戦略の体系



重点戦略

1

人材育成戦略

めざす
とちぎの将来像

次代を担う人がたくましく育ち、
あらゆる場で活躍する「とちぎ」
の実現に向け、次の3つのプロジェクトを推進します。



とちぎの未来を担う子どもたち



地域で取り組む子育て

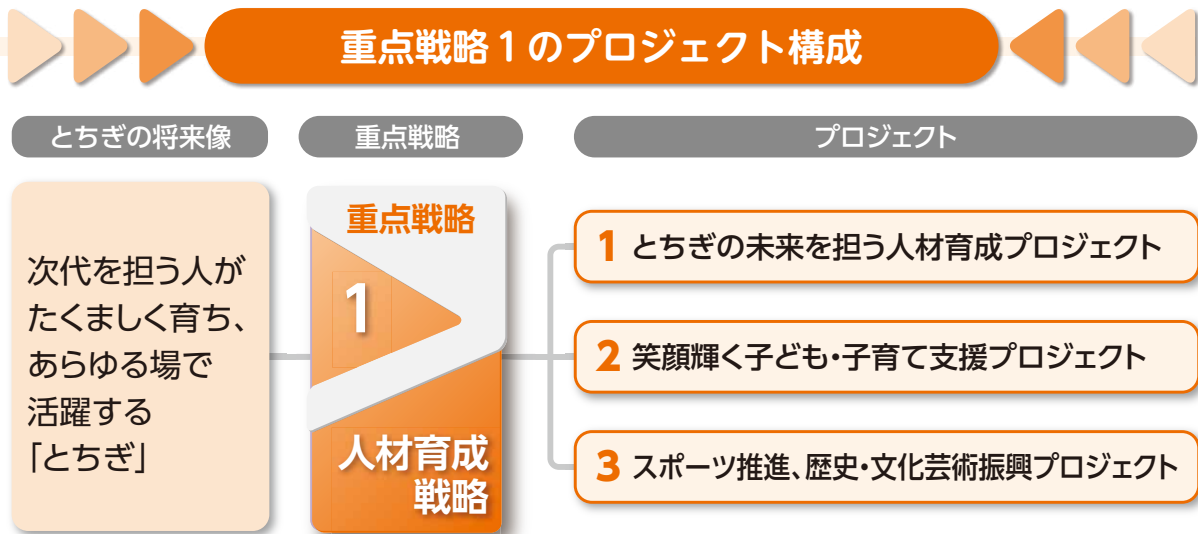


地域の保存会による伝統芸能の伝承

V 重点戦略

重点戦略1 人材育成戦略

重点戦略1のプロジェクト構成



プロジェクト展開の基本的方向

1 とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト

デジタル化の進展や新たな日常への対応など社会環境等が大きく変化する中、とちぎの未来を担う子どもたち一人ひとりが自立し夢や希望をかなえ、これからの社会をたくましく生き抜くため、基礎的な知識はもとより、「自ら学び、判断し、問題をよりよく解決できる『確かな学力』」、「命や個性を大切にし、他者を思いやることのできる『豊かな人間性』」、「郷土に誇りを持ち大切に思うことのできる『ふるさとを愛する心』」を持った人材の育成に取り組めます。

2 笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト

人口減少・少子高齢化が進行する中でも、多くの若者が結婚し、家庭を持つことを希望していることから、社会全体で結婚や妊娠・出産を支援する環境づくりを推進するとともに、困難な家庭環境にある子どもたちを含め、子どもの健やかな成長を支援するため子育てを地域全体で支える体制づくりに取り組めます。

3 スポーツ推進、歴史・文化芸術振興プロジェクト

子どもの健やかな体づくりをはじめ、県民総参加によるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を開催するとともに、両大会を契機とし、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりに取り組めます。

また、とちぎの貴重な財産である歴史や文化への理解を促進し、文化財の保存・活用を図るとともに、これまで培われた文化芸術を磨き、新たな魅力を創造し、次の世代に引き継ぐため、県民が文化芸術活動に親しみ、参画することができる環境づくりに取り組めます。



人材育成

1 とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト



授業でのICTの活用

プロジェクトの目標

子どもたち一人ひとりの夢や希望の実現に向け、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「ふるさとを愛する心」を育み、地域等と連携しながらとちぎの未来を担う人材を育成します。

重点的取組

確かな学力と豊かな人間性、ふるさとを愛する心の育成

▶ 学力の向上と自他を大切にす豊かな人間性を育む学びの充実を図ります。

—主な取組—

- 「とちぎっ子学力アッププロジェクト」の推進
- 豊かな人間性やふるさとを愛する心の育成のための道徳教育や体験活動等の充実
- ふるさととちぎについて理解を深める「とちぎふるさと学習」の推進
- スクールソーシャルワーカーの人材確保から養成・活用まで市町と一体となって取り組む「とちぎモデル」の展開による、貧困など家庭環境等に課題を抱えた児童生徒への支援の充実
- 新たな青少年教育施設の整備・運営
- 子ども総合科学館の魅力の充実 など

一人ひとりの可能性を伸ばす教育の推進

▶ 児童生徒一人ひとりの個性を尊重し、可能性を伸ばすきめ細かな教育を推進します。

—主な取組—

- インクルーシブ教育システム^{*1}を推進するための特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒に対する個々の状況に応じた適切な支援
- 日本語指導が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援 など

▶ 情報化や国際化など急激に変化する社会環境に対応し、柔軟な発想と広い視野を持ってグローバルに活躍する人材や地域を担う人材を育成します。

—主な取組—

- STEAM教育^{*2}など教科横断的な学びの推進
- 英語教育の充実及び教員の指導力の強化
- 高校生の長期・短期留学への支援
- キャリア教育・職業教育の推進 など

※1 障害のある幼児児童生徒が、その年齢及び能力に応じ、可能な限り障害のない幼児児童生徒と共に、その特性を踏まえた十分な教育を受けることのできる仕組み。これを推進することにより、すべての幼児児童生徒が互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができる。

※2 “Science, Technology, Engineering, Art and Mathematics” すなわち科学・技術・工学・芸術・数学の教育分野を総称する語。各教育分野での学習を、実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な教育



地域等との連携・協働などによる特色ある学校教育の推進

▶ 学校・家庭・地域の連携による地域とともにある学校づくりを推進するとともに、それぞれの生徒が希望する進路を実現するための魅力や特色のある学校づくりに取り組みます。

—主な取組—

- 「地域学」など地域の魅力や課題等について探究する学習の推進
- 進学に重点を置く単位制の導入などによる魅力と活力ある高校づくりの推進 など

新たな時代に対応した学びの推進と学校指導体制の整備

▶ デジタル化の進展を踏まえ、学校におけるICT環境の整備や教員の指導力向上等を推進します。

—主な取組—

- ICTを有効に活用した児童生徒の個別最適な学びの推進
- ICTを活用した教育に係る教員の指導力の更なる向上
- 教員の働き方改革の推進による児童生徒への指導の充実
- 私立学校のICT教育水準の向上を図る取組への支援 など

デジタル化に対応した資質・能力の育成

▶ デジタル化に対応し、新しい時代に求められる資質・能力の育成に取り組みます。

—主な取組—

- 情報活用能力やICTリテラシー^{*3}を身につけるための教育の推進
- プログラミング教育などICTを効果的に活用した学びの推進 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 学校や家庭において遠隔・オンライン教育に対応した環境整備を図るとともに、ICT教育に係る教員の指導力の向上を図ります。
- ・ 感染症対策の定着と、対面指導や遠隔・オンライン教育を組み合わせた新たな学びの実現を目指します。

成果指標

① 全国学力・学習状況調査の各教科の標準化得点の平均値

現状値

2019年
小6(国語、算数) 99.5
中3(国語、数学、英語) 99.7

目標値

2025年
小・中学校で全国平均
(100.0)以上を上回る

出典：①文部科学省「全国学力・学習状況調査」

*3 ICTの活用・操作能力のみならず、メディアの特性を理解する能力、メディアにおける送り手の意図を読み解く能力、メディアを通じたコミュニケーション能力までを含む概念をいう。



人材育成

2 笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト



子どもの健やかな成長

プロジェクトの目標

結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえるため、家庭や保育所、学校等に加え、社会全体で子どもたちを育てる環境づくりを推進します。

重点的取組

結婚支援の充実

- ▶ 結婚を望む人に出会いの機会を提供するとともに、若い世代が結婚を前向きにとらえる意識の醸成を図ります。

—主な取組—

- 結婚を望む人が婚活に踏み出すきっかけとなるデジタルツールを活用した効果的な情報発信
- 「とちぎ結婚支援センター」を中心とした会員制マッチングによる出会いの場の創出やオンラインを活用したサービスの充実
- 他県と連携した「とちぎ結婚応援カード(とちマリ)」による新婚世帯等への特典サービスの拡充 など

妊娠・出産、子育て支援の充実

- ▶ 子どもたちがライフプランを考えるための教育や不妊治療等への支援を行うとともに、産前から産後までの総合的な母子保健サービス等を通じ、地域全体で子育てを支えていきます。

—主な取組—

- 県、市町、企業、関係機関等の連携による母子のニーズや状態等に応じた切れ目のない子育て支援
- 中高生等に対する妊娠・出産等に関する正しい知識の普及啓発
- 安心して妊娠・出産ができる医療提供体制の整備
- 不妊に係る治療費の助成や不妊専門相談センターにおける相談の実施 など

- ▶ 市町が提供する教育・保育サービスや子ども・子育て支援事業の充実を支援するとともに、経済的支援や同居・近居など世代間による支え合いへの支援などを通して子育て世帯の負担軽減を図ります。

—主な取組—

- 再就職支援やキャリアアップ研修等による保育人材の確保・育成
- 休日保育、病児保育等の多様な保育サービス充実のための支援
- 保育所や認定こども園、放課後児童クラブの整備等による受入数拡大への支援
- 幼児教育・保育の無償化や多子世帯における経済的負担の軽減 など



貧困や虐待などの問題からすべての子どもを守り、支援する環境づくり

▶ 貧困や児童虐待などの問題から子どもを守り、健やかに成長できる環境づくりに取り組むとともに、すべての子どもが地域の中で見守られ、家庭または家庭と同様の養育環境において、安心して育まれる体制づくりを推進します。

—主な取組—

- 児童相談所の体制・専門性の強化や関係機関との連携強化
- ひとり親家庭に対する子育て・生活支援及び就業支援の推進
- 里親支援体制の充実強化による里親等委託の推進
- 児童養護施設等を退所した児童等への自立支援 など

◆新たな日常の実現に向けて

・「とちぎ結婚支援センター」においてオンラインの活用による機能の充実を図ります。

成果指標	① 婚姻率 (人口千人対)	現状値	2019年 4.5 (全国15位)	目標値	2025年 上昇を目指す
	② 保育所等待機児童数 (10月1日時点)	現状値	2020年 74人	目標値	2025年 0人

出典：①厚生労働省「人口動態統計」 ②厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」



人材育成

3 スポーツ推進、歴史・文化 芸術振興プロジェクト

プロジェクトの目標

子どもの体力向上を図るとともに、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催を契機として、すべての県民が生涯を通してスポーツを「する」、「みる」、「支える」ことができる環境づくりや、スポーツを支える人材の育成を推進します。

また、県民の歴史・文化への理解を促進し、誰もが文化芸術に親しみ、主体的に取り組むことができる環境づくりを推進します。



スポーツを通じた子どもの体力向上

重点的取組

子どもの体力向上やスポーツによる健やかな体づくり

- ▶ **子どもの体力向上をはじめ日常的に楽しみながら運動に取り組める環境づくりなどにより、児童生徒の健やかな体づくりに取り組みます。**

—主な取組—

- ICT等の活用による児童生徒一人ひとりの体力の向上
- 外部人材の活用による運動部活動の指導の充実 など

- ▶ **生涯にわたるスポーツ活動への参加を促進するため、すべての県民がスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。**

—主な取組—

- 年齢や障害の有無にかかわらずすべての県民がスポーツに親しむことができる機会の提供
- 栃木県総合運動公園の活用や県内プロスポーツチーム等との連携によるスポーツの振興
- 「自転車先進県とちぎ」の実現に向けたオール栃木体制による環境づくり など

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を通じた人づくり

- ▶ **いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機とした高い競技力の確保やスポーツを通じた地域の人材育成に努めます。**

—主な取組—

- 県民総参加によるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催や大会を通じて培われた有形・無形のレガシーの継承
- とちぎスポーツ医科学センターの活用などによる全国大会や国際大会で活躍する本県選手の発掘・育成・強化
- 大規模スポーツイベント等の運営を支えるスポーツボランティアの育成
- スポーツ指導者の養成及び資質の向上
- 障害者スポーツの普及及び選手の育成・強化 など



とちぎの歴史や文化芸術を通じて地域を支える人づくり

▶ とちぎの歴史・文化への理解促進や文化財の保存・活用を推進するとともに、地域における多様な主体の参画による文化芸術活動を促進します。

—主な取組—

- とちぎの歴史や文化を再発見し、県民の郷土愛を醸成する取組等の推進
- 障害者等多様な主体の参画による文化芸術活動の促進と県立文化施設における優れた芸術鑑賞機会の提供
- 観光等との連携によるとちぎの文化芸術の新たな魅力の創造・発信
- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会における文化プログラムの展開
- 県立美術館・図書館等に係る将来構想の策定 など

▶ とちぎで才能を磨き、子どもたちが憧れる魅力的なアーティストの育成・支援や、文化芸術の担い手の育成・確保に取り組めます。

—主な取組—

- 貴重な伝統文化を継承する後継者の確保・育成
- 地域の芸術家や若手アーティストの育成支援 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 学校のほか、家庭においても家族ぐるみで子どもの効果的な体力づくりが可能となるウェブサイトを構築します。
- ・ 文化芸術活動において、オンラインや動画投稿サイトの活用により、若手芸術家等の発表機会を確保するとともに、優れた芸術の鑑賞機会を提供します。

成果指標	① 新体力テスト体力合計点の全国平均値との差	現 状 値	2019年 小5 男子 ▲1.17点 女子 ▲0.10点 中2 男子 ▲0.37点 女子 0.35点	目 標 値	2025年 小・中学校で男女とも全国 平均値を上回る
	② 県内公立文化施設入館者数		2019年 67.0万人		2025年 70万人

出典：①スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 ②栃木県県民生活部集計

重点戦略

2

産業成長戦略

めざす
とちぎの将来像

魅力ある多彩な産業が活力にあふれ、
豊かさに満ちる「とちぎ」

の実現に向け、次の4つのプロジェクトを推進します。



AIoT、ロボットなどの技術を駆使した工場

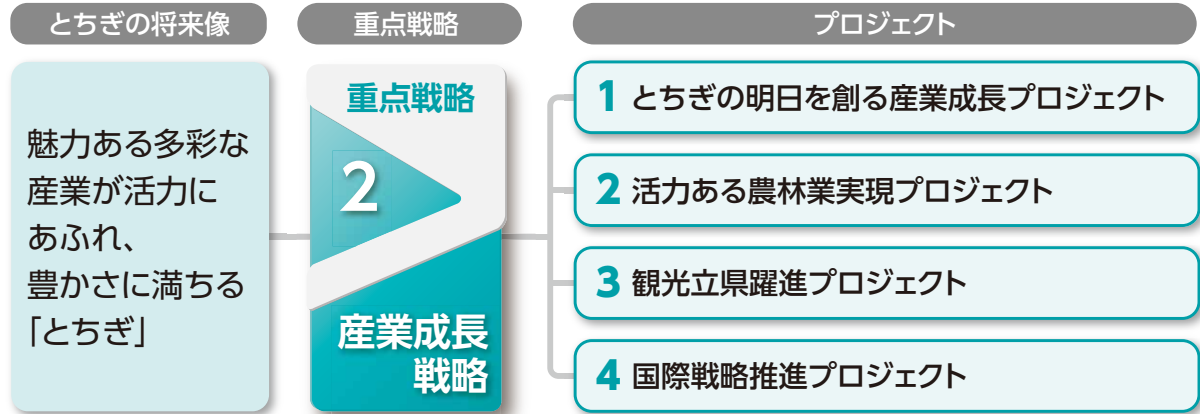


次世代型いちごハウスでの栽培



旧英国大使館別荘から望む中禅寺湖

重点戦略2のプロジェクト構成



プロジェクト展開の基本的方向

1 とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト

本県産業の持続的な発展を実現するため、次の時代の成長を担う次世代産業の創出を図るとともに、サービス産業の生産性向上やものづくり産業の競争力強化の促進、さらには、積極的な企業誘致に取り組みます。

また、地域経済を支える中小企業等の持続可能な経営を支援するとともに、産業人材の育成や雇用の創出・確保に取り組みます。

2 活力ある農林業実現プロジェクト

農林業における担い手の減少や高齢化への対応が求められる中、未来技術の導入により生産性の向上を図り、魅力ある産業として若者や女性等が活躍できる環境づくりを進めるとともに、農産物の高付加価値化や豊かな森林資源の活用等により、収益力の向上に取り組みます。

3 観光立県躍進プロジェクト

本県が誇る豊かな自然、食、温泉、歴史・文化等の観光資源や東京圏との近接性等の強みを生かしながら、観光コンテンツの掘り起こし・磨き上げによる新たな魅力の創出や安全・安心な観光地づくりを推進するとともに、デジタルツール等を活用した戦略的な観光誘客に取り組みます。

4 国際戦略推進プロジェクト

デジタルツールやこれまでに構築してきた人的ネットワーク等を活用しながら、外国人観光客の誘客強化、県内企業の海外展開支援や県産品の輸出促進を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国際交流・協力を推進するなど、国際化に係る施策に一体的かつ戦略的に取り組みます。



産業成長

1 とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト



自動車組立工場の生産ライン

プロジェクトの目標

本県産業の持続的な発展に向けて、次の時代の成長を担う次世代産業の創出、サービス産業やものづくり産業の更なる振興、戦略的な企業誘致及び産業人材の育成等により、本県経済の活性化を図ります。

重点的取組

次世代産業の創出・育成

- ▶ これまでにない新たな製品・サービスを提供する次世代産業の創出・育成を促進するとともに、企業における未来技術の導入・利活用を支援します。

—主な取組—

- 県内企業におけるAI等の導入・利活用を支援するための拠点の設置
- AI・IoT、ロボットなどの未来技術を活用した次世代産業の創出・育成 など

サービス産業等中小企業・小規模事業者の発展支援

- ▶ 多様な産業の成長により、地域と地域経済の更なる好循環を生み出すため、サービス産業分野等において中小企業・小規模事業者の育成・発展を図ります。

—主な取組—

- サービス産業の抜本的な改革や社会課題の解決に資するスタートアップ企業^{※1}の創出など、多様な働き方が選択可能な新たな雇用の受け皿となる魅力ある企業の創出
- 商工団体による伴走型支援や、創業・円滑な事業承継等の促進による中小企業・小規模事業者への支援
- 創業・成長・事業承継等の各フェーズに応じた資金繰りのための支援
- 伝統工芸品をはじめとする地場産業の後継者育成・販路開拓等への支援 など



サービス産業へのデジタル技術の導入促進

※1 世の中の課題を解決する新サービスを創出し急成長する企業



ものづくり産業の戦略的な振興

- ▶ 自動車、航空宇宙、医療福祉機器(戦略3産業)を重点的に支援するとともに、ものづくり企業の成長を加速するAI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材(未来3技術)の新技術開発や活用を促進し、ものづくり産業の更なる発展を図ります。

—主な取組—

- 「戦略3産業」における先進的な製品開発支援、人材育成、海外も視野に入れた販路開拓への支援
- 「未来3技術」における新技術開発支援、戦略3産業等への活用促進、新規事業への展開支援
- 次世代モビリティの実用化を見据えた研究開発の促進
- ものづくり企業におけるスマートファクトリー化^{※2}の促進 など



先進医療機器の製造工場

- ▶ フードバレーとちぎの更なる推進により、“食”のブランド力を高め、食品関連産業の一層の振興を図ります。

—主な取組—

- 食品関連企業の新規立地に対する支援制度の充実
- 食品関連産業と農業・観光関連産業等との連携強化
- とちぎの食のブランド確立に向けた新商品・新技術の開発、販路開拓や生産性向上による競争力強化への支援 など

※2 工場内のあらゆる機器、設備、工場内で行う人の作業などのデータを、IoTなどを活用して取得・収集し、データを分析・活用することで新たな付加価値を生み出せるようにする工場

企業立地・定着の促進

- ▶ 市町等と連携を図りながら、企業にとって魅力ある産業団地の整備を促進するとともに、本県の立地環境の優位性を十分生かしながら、戦略的な企業誘致を推進します。

—主な取組—

- 市町との連携・協働による企業ニーズを踏まえた新たな産業団地の整備促進
- 企業訪問やセミナーの開催、デジタルツールの活用による本県産業団地等への誘致の推進
- 生産拠点の国内回帰、分散化を図るため県内に投資する企業への支援
- オフィスの地方移転・分散化の動きを踏まえたサテライトオフィス等の誘致の促進 など



国内最大規模の内陸型工業団地「宇都宮清原工業団地」

- ▶ 本県に立地している企業の事業展開を支援し定着促進を図るとともに、企業の声を施策に反映させるなど、立地環境の向上に努めます。

—主な取組—

- 立地企業の定着に向けた企業との意見交換等の推進
- 企業ニーズを踏まえた設備投資等への支援
- 人やモノの流れを支える広域道路ネットワークの充実・強化 など

産業人材の確保・育成

▶ デジタル技術を活用できる人材など、企業ニーズに応じた技術・技能を有する人材の育成を図るとともに、県内企業の人材確保を支援します。

—主な取組—

- ICTやAI・IoT等の新たな技術に対応できる人材の育成
- 民間企業や大学等と連携した、ものづくり人材等地域の企業等で活躍する実践的な人材の育成
- 産業界との連携による奨学金を活用した多様な人材の確保 など



ものづくり人材の育成

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴うオフィスの地方移転、分散化の動きをとらえ、サテライトオフィス等の誘致を促進するとともに、多様な働き方の実現や新たなビジネスモデルを展開する魅力ある企業の創出を図ります。
- ・ サプライチェーンの強化や再構築のため、生産拠点の国内回帰や分散化において県内に投資する企業を支援します。

成果指標	① 製造品出荷額等	現状値	2018年 9兆2,111億円 (全国12位)	目標値	2024年 現状値を上回る
	② サービス産業の売上高	現状値	2018年 9兆1,213億円 (全国18位)	目標値	2024年 現状値を上回る

出典：①経済産業省「工業統計調査」 ②総務省・経済産業省「経済構造実態調査」



産業成長

2 活力ある農林業実現プロジェクト



無人運転によるスマート農業・林業の推進

プロジェクトの目標

未来技術の導入により生産性の向上を図り、若者や女性等が担い手として活躍できる環境づくりを推進するとともに、収益性の高い経営体の育成や安定的な供給体制の構築等により、農林業の成長産業化を図ります。

重点的取組

次代の農林業を拓く担い手の確保・育成

- ▶ 県内外・農内外からの新規就農の促進や、女性農業者等の多様な人材が活躍できる環境づくりの推進により、意欲ある人材の参入・定着を図るとともに、地域の農業を持続的に支える営農システムの構築を進めます。

—主な取組—

- AIやVR^{*1}を活用した次世代デジタル教育基盤による農業高校と農業大学校が連携した教育の推進
- 新規参入者の受入体制整備や遊休施設等を継承する仕組みづくりへの支援
- 女性の新規就農の促進及び女性農業者が主役となったアグリビジネスモデル創出への支援
- 集落営農組織の再編や広域的な営農を展開する法人の設立など新たな担い手の育成など

- ▶ 将来の林業を支える若い世代を中心に様々な情報を発信し、県内外や異業種からの新規就業者の確保・育成を推進するとともに、労働環境等を改善することにより、就業者の定着を図ります。

—主な取組—

- 栃木県林業大学校(仮称)の開設による就業前研修の新設を含めた幅広い林業人材の育成
- 林業経営体の経営改善や労働災害防止に向けた安全対策への支援など

成長産業として持続的に発展する農業の確立

- ▶ 本県の強みを最大限に生かし園芸や畜産の更なる生産拡大を図るとともに、未来技術の活用や農地の集積・集約化により一層の効率化等を促進し、国際化に対応できる収益性の高い農業の確立を目指します。

—主な取組—

- AI・IoT等の未来技術を活用したスマート農業の加速化
- 土地利用型園芸メガ産地の育成や産地連携によるサプライチェーン構築の促進
- 需要に応じた米生産と規模拡大等による水田経営の一層の低コスト化の推進
- 畜産経営の法人化・協業化の促進や子牛から肥育生産までの一貫経営の導入促進
- 豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜防疫対策の強化など

*1 Virtual Reality (仮想現実) の略で、コンピュータで作られた世界や実写映像をあたかもその場に居るかのような感覚で味わうことができる技術のこと。



▶ 「いちご王国・栃木」を最大限に生かしたブランド発信力の強化に取り組むとともに、オリジナル品種の開発やブランド価値の深化を図り、国内外で「選ばれる栃木の農産物」の実現を目指します。

—主な取組—

- 競争力のあるオリジナル品種の開発
- 品種独自の栄養機能性などのユニークセリングポイント※2を生かしたブランド価値の向上
- デジタルマーケティング※3を活用したPRをはじめ「いちご王国・栃木」の持続的な発展に向けた戦略的な取組の展開 など

未来技術の活用等による林業・木材産業の進化・成長

▶ 林業の生産工程における自動化技術の導入など、AI・IoT等の活用により生産性や安全性の向上を図るスマート林業を推進します。

—主な取組—

- 森林情報のデジタル化・見える化による効率的な施業等を実施するための基盤整備
- AI・IoT等の活用による林業の生産工程における自動化技術等の実証及び現場への導入 など

▶ とちぎ材の安定的な供給体制を構築するとともに、とちぎ材の高付加価値化や用途拡大による新たな需要を創出します。

—主な取組—

- 林業から木材産業、建築業までの各事業者の連携によるサプライチェーンの構築
- 林業・木材産業界等と連携した展示会や商談会の実施など東京圏におけるとちぎ材の販路拡大
- エネルギーの利用等、森林資源のフル活用に向けた取組の促進 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 外出自粛やイベントの中止・縮小等に伴う農産物の消費の減少に対応するため、地産地消など消費の拡大に取り組みます。
- ・ 国際的な物流の停滞や人の移動の制限など不測の事態に備え、継続的・安定的な農産物の供給体制の整備や人手不足解消に向けた多様な人材の参入促進に取り組みます。

成果指標	① 農業産出額	現状値	2018年 2,871億円(全国9位)	目標値	2024年 3,200億円
	② 林業産出額	現状値	2018年 107.1億円(全国12位)	目標値	2025年 135億円

出典：①農林水産省「生産農業所得統計」 ②農林水産省「農林水産統計」

※2 他産地の農産物と比較した際の本県産特有の強み
 ※3 インターネットと様々なデジタルメディアを利用して、より効率的に商品やサービス等の情報を消費者へ宣伝・訴求すること。



産業成長

3 観光立県躍進プロジェクト



奥日光の雄大な自然

プロジェクトの目標

優れた歴史遺産や豊かな自然等の観光資源、東京圏との近接性等の強みを生かした、魅力ある観光地づくりや観光誘客を推進します。

重点的取組

選ばれる観光地づくりの推進

- ▶ 地域の観光振興の担い手となる人材の育成・確保や地域DMO^{※1}の形成等を促進しながら、DCLegacy^{※2}の継承・定着を図るとともに、地域ならではのコンテンツの造成等に取り組むことにより、魅力ある観光地づくりを推進します。

—主な取組—

- 地域DMOの形成促進による地域の個性を生かした観光地づくりの更なる推進
- DCLegacyを生かした周遊観光の促進や観光関連産業による商品開発等の促進
- 地域資源を活用したサイクルツーリズムの推進
- 日光国立公園の「自然体験コンテンツ」の磨き上げ等によるブランド化の促進 など

観光客受入態勢の整備

- ▶ 本県を訪れる観光客の利便性や満足度の向上を図るため、オールとちぎによる受入態勢の整備等を推進します。

—主な取組—

- 観光立県とちぎの実現に向けた県民一人ひとりのおもてなし向上への気運醸成
- Wi-Fi環境の整備や公衆トイレの洋式化、ユニバーサルツーリズムを目指した受入態勢整備の推進
- MaaS^{※3}の導入等による二次交通の利便性向上と周遊観光の促進
- 観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の実施 など

※1 Destination Management/Marketing Organizationの略。様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となっていく観光地域づくりの推進主体

※2 平成29(2017)年から3年にわたり展開された「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンの際に、県、市町、観光事業者、交通事業者等が一体となって掘り起こし、磨き上げた観光コンテンツや、各主体間が連携した推進体制などの成果

※3 Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地まで、利用者にとって最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス



国内観光客の誘客強化

▶ DCレガシーを活用し、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を見据えた集中的なプロモーションを展開するなど、戦略的な観光誘客を推進します。

—主な取組—

- ワークेशनなどの「新しい生活様式」に対応するとともに、本県の優位性を生かした新たな宿泊モデルの推進
- アンテナショップ等を活用した東京圏等への効果的な情報発信
- 大阪センターを活用した関西圏へのプロモーションの強化
- 旅前・旅中・旅後のすべてのステージを通じたデジタルプロモーションの展開
- デジタルメディアやウェブ等を活用したターゲットを定めた効果的な情報発信 など



魅力ある観光地を生かしたワークेशन

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 宿泊施設、観光施設等における感染防止対策の推進や、「新しい生活様式」に対応したコンテンツ・旅行商品の造成など、安全・安心に観光できる受入態勢整備等を促進します。
- ・ ワークेशनなど、本県の優位性を生かしながら「新しい生活様式」にも対応した新たな宿泊モデルを推進します。

成果指標

① 観光消費額

現状値

2019年 7,054億円

目標値

2025年 現状値を上回る

出典：①観光庁「共通基準による観光入込客統計」



産業成長

4 国際戦略推進プロジェクト

プロジェクトの目標

外国人観光客の誘客強化や県内企業の海外展開への支援、栃木県の強みである観光地や県産品・県産農産物等の魅力・実力を生かした海外市場への展開により県内産業の発展や地域活性化を図ります。



海外展示商談会 (THAI FEX) への出展

重点的取組

外国人観光客の誘客強化

- ▶ 外国人観光客の誘客を促進するため、外国人旅行者も楽しむことができるコンテンツの造成やデジタルツール等の様々な媒体を駆使した効果的なPRに取り組むとともに、安心して快適に観光を満喫できる受入環境を整備します。

—主な取組—

- デジタルツール等を活用した効果的なプロモーションの展開
- 外国人目線による外国人観光客も楽しむことができるコンテンツの造成
- 本県が世界に誇る観光資源を活用した富裕層誘客の推進
- 外国語に対応できる人材の拡充や案内表示の多言語化、Wi-Fi対応地域の拡大、トイレ洋式化等による受入態勢の整備
- MICE^{*1}の招致に向けた関係団体との連携強化 など

県内企業の海外展開支援

- ▶ 東アジアやASEAN、欧州、北米地域など、県内企業が海外の販路開拓・拡大に積極的に取り組めるよう、きめ細かな支援を行います。

—主な取組—

- ジェトロ栃木貿易情報センターと連携した県内企業に対する海外展開支援への強化 など
- ▶ 県内企業の海外展開を支援するため、語学力や国際感覚に優れたグローバル人材を確保・育成します。
- 主な取組—
- 県内企業や留学生等のニーズを踏まえたマッチングの強化
- 産学官協働による、地域に根ざしながらグローバルな視野を持って活躍できる人材の育成 など

*1 企業等の会議 (Meeting)、企業が行う報酬・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称



国際交流・協力の促進

- ▶ 経済をはじめ教育や文化など、海外との多様な交流を推進するとともに、県民の豊かな国際感覚の醸成と国際社会が協調して取り組む課題の解決に向けた国際協力への理解・参加を促進します。

—主な取組—

- 友好交流先との交流の推進や新たな交流の創出、国際理解講座の開催による県民の国際感覚の醸成の促進
- 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとなるホストタウン相手国との継続的な交流促進
- JICA等と連携した青年海外協力隊等への参加促進 など

県産品・県産農産物の輸出促進

- ▶ 県産品・県産農産物の輸出に取り組む産地や事業者等の取組を支援し、海外販路開拓・拡大を促進します。

—主な取組—

- 牛肉やコメ等農産物の輸出に取り組む産地の育成や、日本酒等の輸出に取り組む事業者等への支援
- 輸出対象国・地域に応じた効果的なプロモーションの実施
- 新たな輸入規制緩和国を対象としたテストマーケティング等による販路の開拓 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 安全・安心に楽しめるアウトドアコンテンツ等の造成を促進します。
- ・ アフターコロナにおける外国人観光客の誘客や県産農産物等の輸出拡大を見据えながら、デジタルツール等を活用した効果的なプロモーションを展開するとともに、駐日外国公館等を活用した国際交流を推進します。

成果指標	① 外国人宿泊数	現状値	2019年 24.7万人	目標値	2025年 現状値を上回る
	② 農産物輸出額		2019年 3.11億円		2025年 10億円

出典：①栃木県「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査」 ②栃木県農政部集計

重点戦略

3

健康長寿・共生戦略

めざす
とちぎの将来像

いつまでも健康で、誰もが
いきいきと暮らせる「とちぎ」

の実現に向け、次の4つのプロジェクトを推進します。



健康づくりのための運動

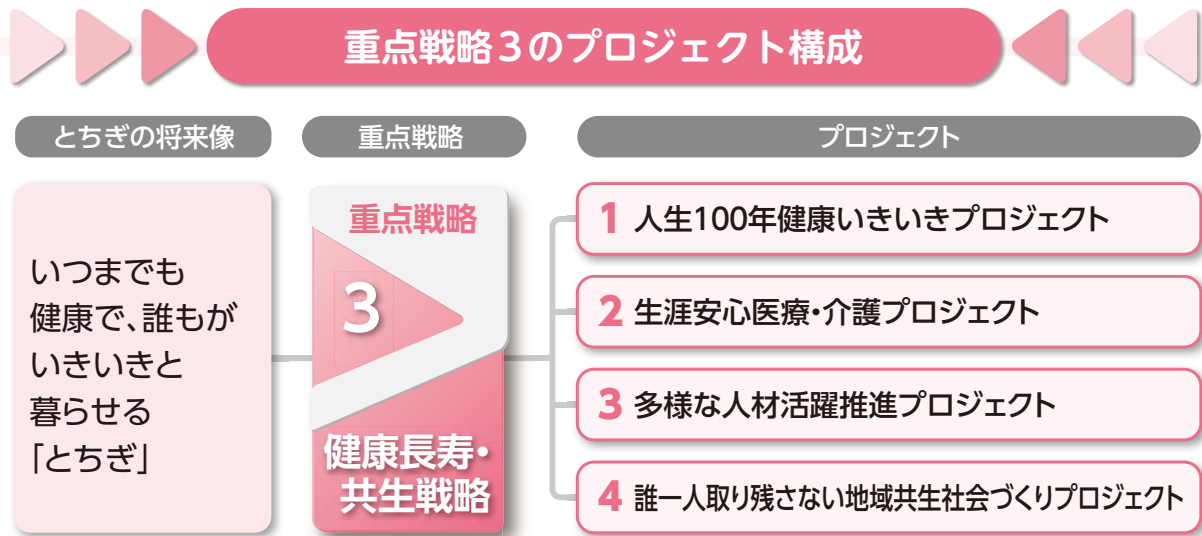
第23回 栃木県老人クラブサークル活動発表大会



高齢者の生きがいづくり



男女問わず能力を発揮できる職場づくり



プロジェクト展開の基本的方向

1 人生100年健康いきいきプロジェクト

人生100年時代を迎え、健康寿命の更なる延伸を図り、県民誰もがいつまでも健康でいきいきと生活を送るため、自分の健康を常に意識しながら日常生活に運動習慣を定着させる環境を整備するとともに、生活習慣病などの疾病の予防や早期発見・早期治療の推進に取り組めます。

2 生涯安心医療・介護プロジェクト

感染症等の発生などに対応するための医療提供体制等の充実や、住み慣れた地域で生涯安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムのより一層の推進を図るとともに、若い世代を含め、がんや生活習慣病の治療に向き合いながら、将来への希望を持ち、質の高い生活を送ることができるよう、がん患者等への支援体制の整備に取り組めます。

3 多様な人材活躍推進プロジェクト

人口減少・少子高齢化がますます進行する中で、性別や年齢、障害の有無、国籍の違いを越え、それぞれのライフスタイルや働き方に応じて、誰もがあらゆる場で能力を発揮し活躍できる環境づくりに取り組めます。

4 誰一人取り残さない地域共生社会づくりプロジェクト

県民一人ひとりがそれぞれの多様な生き方を理解し、相手を思いやり、地域の中で互いに支え合いながら、誰もが安心して幸せに暮らせる環境づくりに取り組めます。



健康長寿・共生

1 人生100年健康いきいきプロジェクト



親子で取り組む健康づくり

プロジェクトの目標

すべての県民が若い頃から運動習慣を日常的に取り入れるなど、健康的な生活習慣を実践できる環境づくりや疾病の予防・早期発見等を推進します。

重点的取組

いつまでも元気に暮らせるからだところの健康づくりの推進

- ▶ 人生100年時代をいきいきと暮らすことができる地域社会を実現するため、健康長寿とちぎづくり県民運動の実施などにより、健康的な生活習慣の確保に向けた社会環境づくりを推進します。

－主な取組－

- 企業や医療保険者と連携した健康経営^{*1}の促進
- 生活習慣等に関するデータを活用した健康づくりの推進 など

- ▶ 健康づくりの基本となる日頃からの運動習慣の定着や、食生活及び喫煙、飲酒などの生活習慣の改善・維持を推進します。

－主な取組－

- 幼少期からの運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ICTを活用した運動習慣の定着及び食生活の改善のための普及啓発
- 子どもたちに関心の高いスポーツと関連付けた食育の推進
- 未成年者や妊婦の喫煙対策と望まない受動喫煙の防止に向けた環境づくりの推進 など

- ▶ 誰もがストレスと上手につきあうとともに、自分や周りの人のこころのサインに気づけるよう、こころの健康に関する普及啓発や環境づくりを推進します。

－主な取組－

- ストレスや精神疾患など、こころの健康に関する正しい知識の普及啓発と相談支援体制の充実
- 専門医療や相談支援体制の充実等による、アルコール、薬物、ギャンブル等に関する依存症対策の推進
- 個人が抱える悩みへの気づきや解消に向けた支援など、福祉、教育、労働分野等と連携した自殺対策の推進 など

※1 従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化、医療費の削減等の効果が期待できる。



疾病の予防・早期発見の推進

▶ **がんや脳血管疾患、心疾患及び糖尿病などの生活習慣病や歯・口腔の疾病などの予防・重症化を防止するため、早期発見・早期治療を推進します。**

—主な取組—

- 意欲ある保険者等によるICTを活用した特定保健指導の取組への支援
 - がん検診の受診率向上による早期発見の推進
 - 脳血管疾患・心疾患の予防や急性期医療体制の整備等の推進
 - 医療機関、医療保険者等と連携した糖尿病の重症化予防の推進
 - ライフステージに応じた歯科保健対策の実施と障害者や要介護者への歯科保健医療サービスの確保
- など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 新型コロナウイルスと共存する社会生活の長期化が想定される中、外出機会の減少等による健康状態の悪化が懸念されることから、健康の維持・向上に寄与するICT等を活用しながら、健康づくりを支援します。

成果指標	① 健康長寿高齢者の割合	現状値	2018年 91.4%(全国6位)	目標値	2024年 91.4%
	② 三大死因(がん・心疾患・脳卒中)による死者数(人口10万人対)	現状値	2018年 208.1人(全国45位)	目標値	2024年 186.5人

出典：①②栃木県保健福祉部集計



健康長寿・共生

2 生涯安心医療・介護プロジェクト



高齢者の通いの場

プロジェクトの目標

感染症等の発生にも備えながら、住み慣れた地域に生涯にわたって安心して暮らすことができるよう、地域の実情に応じた医療提供体制等の充実を図ります。

重点的取組

感染症等の発生にも備えた地域医療提供体制の整備・充実

- ▶ 県民が、必要とする適切な医療を受けられるよう、医療従事者の確保・定着や医療需要に対応した地域医療提供体制の整備を推進します。

—主な取組—

- とちぎ地域医療支援センターサテライトによる医師確保に向けた取組の推進
- 養成機関等と連携した看護師等の育成・確保
- 医療需要に応じた病床の機能分化や連携に取り組む医療機関への支援 など

- ▶ 新型コロナウイルス感染症に加え、新たな感染症の発生を見据え、感染症の医療需要に対応できる病床や検査体制の確保、さらには医療連携体制の構築の促進、医療資源の充実等を図ります。

—主な取組—

- 地域の医療機関等との連携や人材育成などによる検査体制の強化
- 感染症患者受入医療機関等の体制整備及び施設内感染防止対策への支援
- 地域の医療関係者等で構成する会議の開催等による医療連携体制の確保
- 感染症の発生状況等の迅速かつ的確な情報発信 など

がんや生活習慣病等の治療が必要な方に対するライフステージ等に応じたきめ細かな支援

- ▶ がん患者等の心理的・経済的負担が軽減され、安心して治療と仕事等との両立が図れるよう、治療や生活への支援を行います。

—主な取組—

- AYA世代^{※1}等のがん患者が安心して治療に取り組めるようにするための支援の充実
- がんや脳卒中、心疾患、糖尿病等の患者の治療と仕事等との両立に向けた支援の充実 など

※1 Adolescent and Young Adult (思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、主に、思春期(15歳～)から30歳代までの世代を指す。



地域包括ケアシステムの推進

▶ 高齢者が住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるよう、総合的な介護予防を推進するとともに、外出支援や配食、見守りなどの多様な担い手による生活支援や認知症に関する取組の充実に努めます。

—主な取組—

- 介護予防活動に取り組む人材の育成
- ロコモティブシンドローム^{*2}やフレイル^{*3}の予防の推進
- 地域における生活支援サービスの提供体制づくりの促進
- 認知症に対する県民の理解の促進 など

▶ 本人や家族の希望に応じて、住み慣れた地域で生涯暮らし続けることができるよう、地域の実情や県民のニーズを踏まえた在宅医療の基盤整備を推進するとともに、市町における在宅医療・介護連携の推進に向けた支援の充実に努めます。

—主な取組—

- 在宅医療の実施体制の強化及び均てん化^{*4}の促進
- 訪問看護師等の人材の養成・確保
- 市町が行う在宅医療・介護連携の取組に対する支援
- 認知症の早期発見・早期対応に向けた体制の充実 など

▶ 高齢者や家族の生活環境に応じた介護サービスが提供できるよう、提供体制の充実・強化を図ります。

—主な取組—

- 介護サービスを支える人材の育成・確保
- 在宅サービスや施設サービス等の基盤整備 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 感染症患者受入医療機関等の体制整備や施設内感染防止対策を支援します。
- ・ 地域の医療機関等との連携を図るとともに、人材育成などにより検査体制の強化を図ります。
- ・ 県民に感染症に関する情報を迅速かつ正確に提供し、風評被害等の防止に努めます。

成果指標	① 医療施設従事医師数(人口10万人対)	現状値	2018年 226.1人(全国34位)	目標値	2024年 全国31位以内
	② 介護職員数(要介護(要支援)認定者1万人対)	現状値	2018年 2,901人(全国35位)	目標値	2024年 3,201人

出典：①厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」 ②厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

※2 運動器の疾患や加齢による運動器の機能不全により、要介護になるリスクの高い状態のこと。
 ※3 加齢に伴い、心と体の動きが弱くなってきた状態のこと。
 ※4 住む地域にかかわらず、在宅医療を受けられるよう格差の是正を図ること。



健康長寿・共生

3 多様な人材活躍推進プロジェクト



障害者の自立支援

プロジェクトの目標

女性、若者、高齢者、障害者、外国人などすべての人が、それぞれの生活環境に合わせながら、多様で柔軟な働き方などを選択し、あらゆる場で活躍できる社会環境づくりを推進します。

重点的取組

あらゆる分野における女性の活躍推進

- ▶ 女性が個性と能力を十分発揮しながら多様な生き方を選択し、あらゆる分野で活躍できるよう支援します。

—主な取組—

- 官民協働で女性活躍を支援する「とちぎ女性活躍応援団」を核とした取組の推進
- あらゆる分野で女性がリーダーとして活躍するための能力開発への支援
- 学生や社会人がライフデザインやキャリアビジョンの形成について学ぶ場の提供 など

- ▶ 女性が働く場で持てる能力を発揮し、活躍できる環境づくりを支援します。

—主な取組—

- 女性が活躍できる職場環境づくりの促進
- 働き方改革や女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の認定・表彰
- キャリアアップのための能力開発やスキル向上への支援
- 女性の就業や再就職、技能習得への支援 など

若者・高齢者・障害者・外国人の活躍に向けた環境づくりの推進

- ▶ 年齢や障害の有無、国籍の違いなどを問わず、誰もがあらゆる場で活躍できる社会環境づくりや就業等の支援を推進します。

—主な取組—

- とちぎ生涯現役シニア応援センター(ぶらっと)による社会参加活動への相談・支援
- 就職氷河期世代の就労の促進
- 障害者の適性や能力に応じた就労機会等の確保や定着支援
- 若者の地域活動への支援による社会参加の促進やリーダーの育成 など



▶ **新たな担い手である外国人が働きやすく暮らしやすい環境づくりを促進します。**

—主な取組—

- 「とちぎ外国人相談サポートセンター」を中心とした外国人への就労支援や生活相談
- 「企業向け外国人材雇用等相談窓口」等による企業からの相談対応
- 「とちぎ外国人材活用促進協議会」による外国人材の円滑な受入れの促進
- 産学官民連携による地域日本語教育の充実 など

▶ **ライフステージに応じて何度でも挑戦することができる学習機会の提供に取り組みます。**

—主な取組—

- 高齢者等が地域社会で活躍できる生涯学習の推進
- 社会人の学びのニーズに対応するための県内大学等と連携したリカレント教育^{*1}の推進 など

働きやすい環境づくりの推進

▶ **多様で柔軟な働き方の定着促進を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進します。**

—主な取組—

- 県内中小企業へのテレワークの普及促進など、多様で柔軟な働き方の促進
- 企業等における働き方改革の促進
- 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の払拭のための意識啓発
- 男女がともに家事・育児・介護を行う気運の醸成 など

◆ **新たな日常の実現に向けて**

- ・ 多様で柔軟な働き方の実現に向け、テレワークの普及・定着を促進します。

成果指標	① 女性就業率(15～64歳)〔事業所規模30人以上〕	現状値	2019年 33.7%	目標値	2025年 35%
	② 障害者の雇用率	現状値	2018年 2.07% (全国43位)	目標値	2025年 2.45%

出典：①栃木県産業労働観光部集計 ②厚生労働省「障害者の雇用状況について」

※1 学校教育を終えた社会人が、生涯にわたり必要に応じて繰り返し受けることができる教育



健康長寿・共生

4 誰一人取り残さない 地域共生社会づくりプロジェクト



外国人を対象にした防災教室

プロジェクトの目標

子どもや高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティなど、すべての人々が「地域」「暮らし」「生きがい」を共に創り、高め合い、誰もが社会で活躍し、快適に安心して生活できる地域社会の実現を推進します。

重点的取組

誰もが安心して暮らすことができる環境づくり

- ▶ 年齢や障害の有無などにかかわらず誰もが生きがいと暮らしやすさを感じられる地域社会の実現に向けた基盤づくりを推進します。

—主な取組—

- デジタル技術を活用した見守り等も含む住民等による支え合い活動の促進
 - 8050問題^{*1}など、多様化・複雑化した様々な課題の解決に向けて包括的に支援する体制の構築に向けた市町への支援
 - 障害や障害者に関する理解の促進及び障害者差別解消の推進
 - 障害者の多様なコミュニケーション手段の確保やICT活用等による障害者の社会参加の促進
- など

- ▶ 障害者等が必要な支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援します。

—主な取組—

- 発達障害者が身近な地域で支援が受けられる体制の整備
 - 子ども若者・ひきこもり総合相談センター(ポラリス☆とちぎ)によるひきこもりに対する支援
 - 障害者グループホームや日中活動・居宅サービスの確保・充実
 - 重度心身障害者医療費助成制度の充実
 - 認知症等により判断能力が十分でない方の権利を守るための成年後見制度等の利用促進
- など

- ▶ 性的マイノリティへの理解を促進し、性の多様性を認め合う意識の醸成を図ります。

—主な取組—

- 性の多様性について理解を深める教育の推進
 - 性的マイノリティに関する啓発の推進及び相談支援の充実
- など

^{*1} 80歳代前後の親が50歳代前後の無職等の子を支える家庭において、生活困窮と介護が同時に生じる社会問題



多文化共生の推進

- ▶ 県民の多文化共生意識の醸成や、外国人の支援を担う人材を育成することにより、地域における多文化共生を推進します。

－主な取組－

- 「やさしい日本語」の普及啓発やセミナーの実施等による県民の多文化共生意識の醸成
- 災害時に在県外国人の支援を行うボランティアの育成 など

- ▶ 外国人住民が、自らの個性や能力を生かし、地域づくりの担い手として活躍できるよう、市町や関係団体等と連携し、外国人の地域社会への参画を促進します。

－主な取組－

- 外国人住民とのネットワークを有するキーパーソンを活用した、地域イベントやボランティア活動等の情報提供の促進
- 外国人住民との意見交換の場の創出 など

◆新たな日常の実現に向けて

- ・ 高齢者等の見守りや障害者とのコミュニケーションのツールとしてICTを活用することで、非接触によるコミュニケーションの機会創出を図ります。

成果指標

① 困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ(相手)がない県民の割合

現状値

2019年 10.6%

目標値

2025年 減少を目指す

出典：①栃木県「県政世論調査」